

広報 にしあわくら

09

760

長月
2026

迎えた新成人たち。久しぶりの再会に心が弾みます。

大きく成長をとげ、二十歳を



特集

二十歳のつどい

今月のテーマ

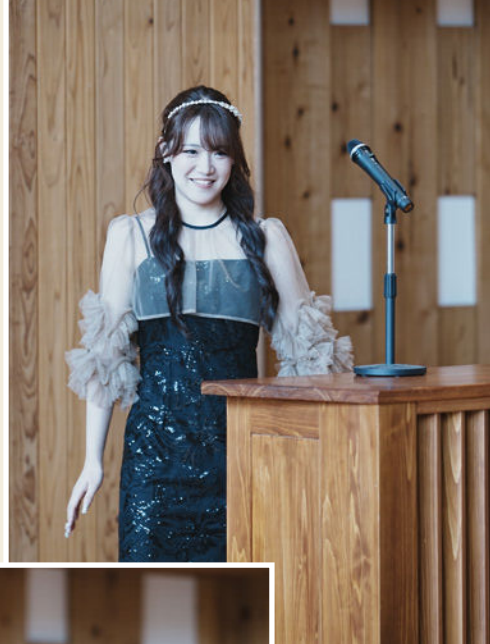
二十歳のつどい



おめでとうございます！



8月15日(土)に二十歳のつどいが行われました。
村の二十歳のつどいは県内で唯一夏に開催されます。
今年は13人の方が二十歳を迎えられ、式典には12人が
出席し、近況や今後の目標を語りました。



- ① 今取り組まれていることや頑張っていること
- ② 村での思い出や村の好きなところ



野田 愛実さん
(ノダ アミ)



延東 ももさん
(エンドウ モモ)



江見 ほのかさん
(エミ ホノカ)



井上 美嶺さん
(イノウエ ミレイ)

- ① パティシエになるための技術を身につけることです
- ② 自然に間近で触れることができる場所

- ① 短大で保育の勉強をしながら実習も頑張ってます！
- ② 小中でのスキー教室！

- ① 大学、部活、バイト全て全力で頑張ってます！
- ② 村のひとみんな家族みたいな温かいところが好きです！

- ① 大阪の洋菓子屋でパティシエをしています
- ② 学校帰りの川遊び



小椋 逢斗さん
(オグラ アイト)



チャールズ 広伸さん
(チャールズ ヒロノブ)



乾 大夢さん
(イヌイ ヒロム)



藤本 暖人さん
(フジモト ハルト)

- ① やりたい事を見つけています
- ② 落ち着けて安心出来る場所

- ① アメリカの大学で数学と経済学を学んでいます
- ② 挑戦している大人がたくさんいるところ

- ① 資格取得に向けた勉強をがんばっています
- ② 静かでのんびり出来る場所

- ① 専門学校で介護福祉士の勉強をしています
- ② 川で遊べる場所



福井 悠斗さん
(フクイ ユウト)



建元 一輝さん
(タデモト カズキ)



青木 澪音さん
(アオキ レオン)

- ① 国家資格取得に向けた勉強を頑張ってます
- ② 自然豊かで星が綺麗に見える場所

- ① 大学で観光学を専攻しています
- ② 13人でやった会館での泊り会

- ① 仕事がんばってます
- ② 星が綺麗に見える場所

みんなとの思い出



「読書の秋」スタート

9月といっても最近はまだまだ真夏の天候ですが、暦のうえでは秋がスタート。秋といえば、読書の季節です。

読書は語彙力や想像力だけでなく、集中力やストレス軽減にも効果があると言われています。

図書館では小説や実用書、絵本など幅広い本をとりそろえています。この秋は、普段は読まない新しいジャンルに挑戦してみませんか？



図書館の豆知識

～図書館にある返却ポストって知ってる？～

図書館が閉まっている時間（開館中はカウンターへ）は、図書館入口の外の返却ポストをご利用いただけます。

本や雑誌はポストへ返却できます。ただし、CD・DVDなどの視聴覚資料や他館から借りた本は、カウンターへお返しください。

ご利用案内

9月 図書館のおやすみ

21～23日(月～水・祝日)

28日(月・図書館整理日)

10月 夜と、図書館の日

5日(月)～20時まで

図書館の休館日：祝祭日、毎月最終月曜、年末年始

あわくら会館 開館時間 8:30～22:00

あわくら図書館 開館時間 10:00～18:00

あわくら会館のイベントの詳細は別紙チラシをご覧ください。

図書館の新刊案内

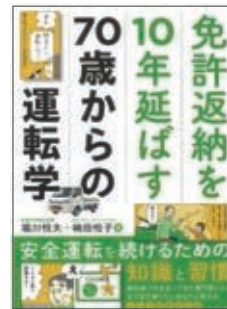
『成功した人だけが知っている 儲かるスモールビジネス』 内田誠也／著 KADOKAWA



小さく始めて着実に利益を生み出すための考え方や実践法を紹介。起業や副業を考えている方はもちろん、新しい働き方やビジネスのヒントを得たい方にもおすすめの一冊です。

一般書

『免許返納を10年延ばす70歳からの運転学』 堀川悦夫＋楠田悦子／著 プレジデント社



安全運転を長く続けるために、加齢による身体や認知機能の変化と向き合いながら、その対策をわかりやすく解説。運転に自信を持ち続けたい方や家族にも役立つ一冊です。

一般書

『夏帆』 村上春樹／著 新潮社



女性を主人公にした村上春樹初の長編小説。揺れ動く心情や人とのつながりを繊細に描き、独特の世界観が広がります。静かな余韻に浸りながら読み進めたい一冊です。

一般書

『ねこの町のアイスクリームパーラー』 小手鞠るい／作 くまあやこ／絵 講談社



ねこの町のアイスクリームパーラーを舞台に、個性豊かなねこたちが繰り広げる心あたたまる物語。やさしい世界観とおいしいそうなアイスクリームに癒やされ、読んだあとほっとした気持ちになれる絵本です。

児童書



▲ 7/11(土)「星野ルネ氏講演会」の様子

あわくら会館



あわくら会館で「生きるを楽しむ」様子を紹介

主催行事

「生きるを楽しむ講演会」

7月11日(土)、漫画家・タレントの星野ルネ氏を講師に迎え、「生きるを楽しむ講演会」を開催しました。自身の生い立ちや経験をもとに、「当たり前を壊し、自分らしさを追求すること」の大切さについてお話しいただきました。時折ユーモアを交えながら語られる言葉に、会場は笑いに包まれる場面もあり、参加者は熱心に耳を傾けていました。多様性や自分らしく生きることについて考える、貴重な機会となりました。



主催行事

「ピッピさんの夏のおはなし会」

7月28日(火)、読み聞かせボランティア「ピッピ」によるおはなし会を開催しました。絵本の読み聞かせをはじめ、紙芝居やビッグブック、手品などが披露され、子どもたちは物語の世界を楽しみながら、笑顔いっぱい時間を過ごしました。小学生の部では、読み聞かせ後にボードゲームで交流しました。参加者同士が笑顔で触れ合い、楽しく過ごす様子が見られ、夏休みの思い出となるおはなし会になりました。



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



Instagram イベント情報



Facebook



『西栗倉の自然…ありがとう!』
今年も地域の方の力をお借りし、塩谷川で魚のつかみ取りを行いました。3歳児にとっては初めての経験でしたが、魚を捕まえようと、それぞれが奮闘している姿が見られました。魚は地域の方が焼いてくださり、子どもたちは大きな口を開けてかぶりついていた。夏の素敵な一日でした。

幼稚園



保育園

『水遊び!』
暑い夏は水遊びざんまい!水の感触や顔にかかったときの気持ちよさはこの季節ならではのお楽しみです。園庭には子どもたちの楽しそうな声が響き渡りました。容器に水を注ぐときは「これくらい傾けたらいいのかな?」と研究熱心な様子。水鉄砲はこれくらいの力加減かな?シャワーマットは強く踏むといっぱい水が出るんだ!と、学びの芽がたくさん育っています。



小学校

『水泳』

6月中旬から水泳学習が始まりました。学年ごとに、自分で目標を決め、その達成のために一生懸命がんばりました。

7月13日(月)にはシドニーオリンピック銅メダルの中尾美樹さんをお招きし、水泳の指導をしていただきました。泳ぎ方や息継ぎなどを丁寧に教えていただき、貴重な時間となりました。今年もよい経験ができました。



中学校

『球技大会』

7月15日(水)、保健体育委員会主催の校内球技大会が開かれました。種目はバスケットボールで、全校生徒を縦割りの6チームに分け、3チームずつの総当たりで予選を行い、1番成績の良かったチーム同士で決勝戦を行いました。先生が助っ人に入るチームもあり、和気あいあいとした雰囲気の中、楽しく汗を流しました。



観光再整備事業について

百年の森林観光・産業創出事業が動き始めました。



村にあるさまざまな魅力をつなぎ、観光を通じて新たな交流や産業を生み出すため、今年度から3年間、国の地域未来交付金を活用し、「百年の森林観光・産業創出事業」を進めます。

西栗倉村では、2008年に「百年の森林構想」を掲げ、森林を次の世代へつなぐ大切な資産と捉え、持続可能な地域づくりに取り組んできました。この考え方を土台に、「百年の森林事業」やローカルベンチャー、移住・定住の促進など、地域に新しい価値を生み出してきました。

村内には、森林や清流、道の駅あわくらんど、温浴施設、キャンプ場、木工、食、農林業、地域事業者の活動、日々の暮らしなど、村ならではの魅力が数多くあります。

これらは、訪れる人が西栗倉の自然や産業、暮らしに触れる大切な入口です。一方で、それぞれの

魅力をつなぎ、村全体を巡る一つの体験として届けることには、まだまだ大きな可能性があります。

本事業では、道の駅や観光施設をそれぞれ単独で捉えるのではなく、「百年の森林構想」の考え方を軸に、村内の産業、暮らし、地域事業者の活動と結びます。訪れた人が村内を巡り、自然に触れ、体験し、食べ、買い物をし、滞在する。さらに、地域の人や事業者との関わりを通じて、西栗倉の考え方や日々の営みに触れる機会をつくります。こうした体験をきっかけに、訪れる人との新たな交流を生み出し、地域の産業や暮らしがより豊かになる観光のかたちを目指します。

事業費・財源

	事業費(予定・千円)	うち観光再整備	うち大茅再整備
令和 8年度	474,550	217,730	256,820
令和 9年度	1,002,479	274,350	728,129
令和 10年度	275,760	275,760	0
計	1,752,789	767,840	984,949

財源には、交付対象経費の2分の1に国の交付金を充てるほか、地方債や企業版ふるさと納税などを活用し、村の一般財源による負担をできる限り抑えます。
※ 事業費は現時点の計画額であり今後の事業内容や予算編成、国との協議等により変更する場合があります。

事業内容

■ 西栗倉村の観光ブランディング
西栗倉らしい観光のあり方を見極め、形にいくために。村の歴史や風土、産業や日々の暮らしに息づく魅力を改めて整理し、「何を大切にし、どう伝えていくか」というすべての取り組みの軸となる方針を定めます。今後の体験づくりや施設整備、情報発信などもこの方針をもとに進めていきます。

この「西栗倉らしさ」の掘り起こしと、土台となる思想・価値観の確立にあたっては、日本の文化や美意識に深く根ざしたデザインを手がける、日本デザインセンターの原研哉氏とともに取り組んでいます。

この観光ブランディングに基づき、主に次の取り組みを進めます。

- 観光を担う組織と人材づくり
- 村内の観光資源の調査・分析
- 観光情報を発信する基盤の整備
- 大茅スキー場エリアの再整備を含む観光コンテンツづくり（民間主体によるコンテンツの企画・開発）

■ 来訪者を受け入れるための環境整備

■ 自然資本を生かした体験事業や農産物づくり

■ 関係人口・貢献人口を増やす仕組みづくり

■ 村の自然や生物多様性を、観光・産業創出につなげるための地域戦略づくり

道の駅あわくらんど・旬の里の将来構想を検討します

道の駅あわくらんどと旬の里は、村内外から多くの人々が立ち寄り、村の食や農産物、特産品、観光情報に触れ、村内を巡るきっかけとなる大切な場所です。特に道の駅あわくらんどは、開業から長い年月が経ち、建物や設備の老朽化への対応が必要となっています。

本事業では、旬の里の農産物販売や地域農業振興の役割も踏まえ、両施設に今後どのような役割や機能が必要か、周辺施設や村内事業者とどのようなつながっていくのかなど再整備に向けて検討します。





大茅スキー場エリア再整備事業

昭和46年に開業した大茅スキー場は、多くの村民や来訪者に親しまれてきました。しかし、近年の降雪量の減少や施設の老朽化、スキー人口の減少などにより、令和4年度をもって営業を終了しました。

営業終了後も施設の維持管理が必要な一方、跡地を十分に活用できない状況が続いていました。そこで、スキー場跡地を新たな地域資源として生かし、村内外から人を呼び込むとともに、訪れた人が村内を巡るきっかけをつくるため、新たな活用を進めることとしました。

本事業では、村全体で進める観光コンテンツづくりの一つとして、大茅スキー場エリアを、森林などの自然を満喫しながら「遊び」「体験」「滞在」ができる「マウンテントラック大茅」として再整備します。村内の食や宿泊、森林体験、道の駅、地域事業者の取り組みなどをつなぎ、訪れた人が村内を巡るきっかけとなる場所として整備を進めます。

大茅スキー場エリアの再整備に当たり、村では公募型プロポーザルを実施し、提案内容を審査しました。

その結果、株式会社カヤック、株式会社キャンプサイト、佐藤建設株式会社の3社で構成される特別目的会社（SPC）「大茅コクリエイト事業開発合同会社」を事業者として選定しました。SPCとは、特定の事業を進めるために設立される会社のことです。

整備内容は、

- 旧ゲレンデの地形を生かしたスケートボードトラック
 - 自然の中に滞在できるキャビン
 - 森林環境を生かしたサウナ
 - 飲食・交流スペース
- などの整備を予定しています。

整備スケジュール

令和8年度
実施設計、既存建物の改修など
令和9年度
既存建物の改修、建物の新設など
令和10年4月
オープン予定

【産業観光課】

健康増進 糖尿病と健診について

40歳になったら、年に1回、健診を受けましょう

労働安全衛生法に基づく一般健診診断

事業者が常時使用する労働者等を対象に、職場で年1回以上実施することが義務付けられている健診。労働者にも健診を受診する義務があります。

特定健康診査

40歳以上75歳未満で、医療保険（市区町村国民健康保険、協会けんぽ、健康保険組合など）に加入している方を対象に行われる健診。

健康診査

75歳以上で後期高齢者医療制度に加入している方を対象に、健康状態を確認するために行われる健診。

糖尿病は血液検査でわかります。糖尿病は、インスリンが十分に働か

ないために慢性的に血糖値が高い状態が続く病気です。

糖尿病の初期の段階では、自覚症状がないことが多いため、定期的に健診を受診して血液検査で空腹時血糖値やHbA1cの数値を確認しましょう。

受診勧奨判定値以上だった場合は、診察や検査を受けましょう。

空腹時血糖126mg/dl以上、またはHbA1c6.5%以上の場合、すぐに医療機関を受診し、医師の診察や検査を受けましょう。

※空腹時血糖とは

10時間以上食事をしていない状態で測定した血糖値（血液中のブドウ糖濃度）です。

※HbA1c（ヘモグロビン・エー・ワンシー）とは

HbA1cは、採血前1～2ヶ月

間の血糖値の平均的な状態を反映した指標です。血糖値と異なり直前の食事の影響を受けません。

血糖値が高い状態が長く続くと、神経、目、腎臓に起こる合併症や動脈硬化が進みます。

定期的な受診をして、HbA1cの値や合併症の状態を確認しましょう！糖尿病は症状が出にくいからこそ、健診で血液検査の結果を見ることが大切です

年に1回、健診を受けましょう。



特定健康診査における、保健指導判定値・受診勧奨判定値

【保健福祉課】

9月21日
世界的には【世界アルツハイマーデー】
日本では【認知症の日】

認知症になっても安心して暮らせる社会の理解と支援を広げる

誰がなってもおかしくない病気認知症は年齢を重ねれば誰にでも起こりうる病気です。正しく知って認知症への理解を深めましょう。

そして認知症の人が、尊厳と希望をもって認知症とともに生きる、また認知症であってもなくても同じ社会でともに生きる【共生】の社会をつくっていくことが大切です。

- ① 食事を工夫する
- ② 趣味を楽しむ
- ③ 運動する習慣
- ④ 社会参加を積極的に

認知症を予防する生活改善



いつまでも
西栗倉で
暮らすんじや！

【保健福祉課】

毎年9月20日から26日は
動物愛護週間です

【動物愛護管理法では、国民の間に広く動物の愛護と適正な飼養についての理解と関心を深めていただくため、9月20日から26日を動物愛護週間と定めています。】

○動物の5つの自由

5つの自由とは、動物が生きていくために必要な要求が満たされて、動物が心地よく、安心して安全に暮らせているかを確かめるための指標です。飼いは、動物であるペットに、この5つの自由を与え、できる限り快適に生活ができるようにする責務があります。



【保健福祉課】

民生・児童委員が小学生・幼稚園児と一緒に人権の花を植えました！

世話で大きく育ってきれいな花が咲くのを楽しみにしています。



☆種まきの様子☆
【1.2.3年生・幼稚園そう組】



☆植え替えの様子☆
【5.6年生と人権擁護委員さん】

【保健福祉課】

西栗倉村「切れ目ない相談事業」スタートのお知らせ

令和8年度より、西栗倉村ではこども家庭センターを設置しています。

その事業の1つとして、「切れ目ない相談事業」をスタートします。

妊娠・出産・子育て・思春期相談・家族相談などいつでも助産師さんに相談が可能です。

相談方法は、面談・訪問・LINEです。詳しくは、西栗倉村ホームページQRコードを読みとり、ご確認をお願いします。

また、事業の開始に合わせて、「妊娠届」提出時、「新生児訪問」の際にも、助産師さんと面談をおこないます。

そのため、「妊娠届」を提出される際には、必ず事前に保健福祉課までお電話をください。



【保健福祉課】

一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センターから「特別感謝状」をいただきました。

本村が「脱炭素先行地域づくり事業」の一環として公共施設4か所に導入した、地下水の冷熱を活用した冷房システムについて、一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センターから「ヒートポンプ・蓄熱月間特別感謝状」をいただきました。

同センターでは、冷房需要が本格化する7月を「ヒートポンプ・蓄熱月間」と定め、ヒートポンプ・蓄熱システムの普及促進や技術向上に貢献した企業・団体に感謝状を贈呈しています。今回、本村の井水熱を活用した冷房と地域熱供給による暖房を組み合わせた空調システムが省エネルギーと脱炭素化の実現を目指す先進的な取り組みとして評価されました。



（授与式の様子）

【産業観光課】

7月23日（木）には役場庁舎において贈呈式が行われ、同センター理事長の小宮山氏より感謝状と記念の盾が授与されました。本村では、今後も地域の自然資源を有効に活用しながら、環境負荷の少ない持続可能な地域づくりを進めてまいります。

村出身者対話型ワークショップ

8月16日（日）村出身者の若者を対象に対話型ワークショップを開催しました。ワークショップには村内在住の若者や東京から帰省した若者、オンライン参加では北海道から合計8名が参加しました。

ワークショップでは西栗倉で過ごした当時の思い出や村外に出て



みて感じた西栗倉村の良いところなどについて語り、学年を超えた交流ができました。若者が村に帰ってくるきっかけになるようなイベントを引き続き続けていきたいと考えています。



【総務企画課】

自分の血管年齢を検査してみよう！

西栗倉村診療所では、血管脈波検査（動脈硬化の検査）ができます。

血管の硬さ（CAV）・血管の詰まり具合（AB）と血管年齢がわかります。

「動脈硬化の危険性」

動脈硬化は喫煙・高血圧・糖尿病・脂質異常症・肥満・ストレスなどによって血流が悪くなり進行すると、心筋梗塞や脳梗塞、大動脈解離など重篤な病気を発症するリスクがあります。検査をしてみても自分の身体と向き合うことが大切です。

「検査方法」

ベッドに横になり心臓の音を確認する小さな機械を鎖骨の真ん中あたりにつけて四肢に血圧計を巻き測定します。

「検査時間」

5分程の短時間で検査ができ、

すぐに結果を知ることができます。

※検査に予約はいりません

西栗倉村診療所で健診を受ける方は希望にて追加で検査ができます。（料金500円）

保険でも検査可能ですのでご相談ください。

「動脈硬化の予防」

・禁煙しましょう。
・運動は、1日30分（10分ごとに分けても良い）の有酸素運動（ウォーキングがおすすめ）

日々の家事でもカロリーは消費しています。ストレッチやラジオ体操も効果的です。

・食事は、油ものは控えて青魚や野菜をとり減塩しましょう。

・肥満の方は、食事や運動療法が効果的です。（※食事や運動療法を行っていても痩せづらい方は医師にご相談ください。）

・休息は、しっかりととりましょう。

【西栗倉村診療所】

おしえて年金

国民年金育児免除制度が創設されます。

【制度の概要】

■令和8年10月より子を養育する国民年金第1号被保険者について、その子が1歳になるまでの期間に係る国民年金保険料が免除される制度です。

■子を育てている方（実父母・養父母）は、申請することで、所得に関係なく国民年金保険料の納付が免除されます。

■納付が免除された期間は、保険料を納付したものとして老齢基礎年金の受給額に反映されます。

【対象となる方】

■1歳までの子を養育する国民年金第1号被保険者の実父母・養父母が対象です。

■子を養育する要件として、次の全てを満たしている必要があります。

①子と身分（親子）関係が継続していること。

②子と同一住所であること。所得要件はありません。

【手続き】

令和8年10月以降に「国民年金育児免除該当・終了届」を市区町村窓口または年金事務所へ提出して下さい。（電子申請も可能）

★詳しくは、
ねんきんネット専用電話
（0570・058・555）へ、

その他年金の詳しいことについては、津山年金事務所
（電話 0868・31・2360）へ
お問い合わせください。

【保健福祉課】

あわくらたんけんクラブ

村の自然を満喫「CAMP」



8月1日(土)・2日(日)大茅キャンプ場で夏恒例のキャンプを開催しました。児童14名に、一緒に本気で遊ぶたくさんの大人たちも加わり、テント設営や火起こし、川遊びまで村のフィールドをまるごと遊び尽くしました。

川遊びでは、昨年飛べなかった飛び込みに挑戦し、見事飛び込むことができた、大人たちと一緒に喜び合うなど成長を感じる瞬間がありました。

買い出しから調理、薪割りまで自分たちの手で行い、協力して作ったカレーやカートンドッグの味も格別だったようです。

総大将やボランティアの大人が企画した昆虫採集や沢のぼりにも夢中になり、村の「人・もの・場所」を自ら遊びに変え、ひと回り逞しく成長した最高の夏の思い出となったようです。



お問い合わせ あわくら会館 (0868-79-2116)

むらまるごと通信 vol.58

【絵が苦手でも夢中になれた！
ひかりのうちわづくりワークショップ】

むらの工作室の「放課後開放日」では、小中学生を対象に、毎月テーマを持ったワークショップと、工具や機械を自由に使える自主制作日を開いています。7月のワークショップは「うごくもようをデザインしよう！ひかりのうちわ作り」。プログラミングツール「Viscuit」を使い、三角や四角、丸など簡単な形を組み合わせて、ただでステキな模様が作れます。できた模様は、うちわの形に切り出した透明なアクリル板に

UVプリンターで印刷。持ち手はレーザーカッターで木を切り出して作りしました。光にかざすときらきら透ける、自分だけの一枚に。絵全体を描くのが苦手な子でも、シンプルな図形や文字を組み合わせるだけで素敵な模様に。絵を描くことが好きな子は宇宙や花火など自分だけのテーマを見つけ、夢中になって描き込む姿も見られました。暑い夏、自分たちで作ったうちわで涼んでもらえたら嬉しいですね。



連絡先 090-4109-6500

あわくら大学7月講座

言葉の文化に触れる「語り部＆落語」

7月17日(金)、あわくら会館大ホールにて「語り部＆落語」講座を開催し、あわくら大学生35名が出席しました。

今月の講座は、言葉が持つ豊かな文化や表現に触れ、教養を深めることを目的に開催しました。前半は、勝中央話を語る会「ちゃんちゃんこ」の4名による味わい深い民話の語りをお届けしました。

後半は、村内の「やってみ亭 琉」さんの落語講座。はじめに、

交通事故をテーマにした演目「モンキードライブ」を鑑賞しました。鑑賞後には、セリフや演技を教わり、最後に参加者みんなで披露しました。

さらに講座の最後には、Uターンの地域おこし協力隊・政久翼さんによる健康体操を実施し、心地よく体を動かしました。

言葉の力とたくさんの笑顔があふれる、心温まる特別なひとときとなりました。



あわくら会館・図書館 副館長白岩将伍

特色ある教育通信

「中学2年生 家庭科 浴衣の着付け教室」

中学2年生の家庭科に地域講師4名をお招きし、浴衣の着付けの実習を通して『和服の構成』や『日本の衣文化の特徴』について学びました。最初は慣れない和服に苦戦しましたが、講師の方々によるテンポのよい指導で徐々にコツを掴み、浴衣をピシッと着こなすことができました。実習の後半には講師の方々の手を極力借りず、自分たちだけで着付けに挑戦。最初はぎこちない手つきでの試みでし

たが、講師の指導を思い返しながら立派に着付けを行うことが出来ました。着付けを終えた生徒たちは、互いに浴衣姿を披露し合い、普段身に着けている制服とは異なる立ち振る舞いの感覚に笑顔があふれていました。この秋にはオーソトラリアの学生が来村します。今回の経験を活かし、生徒たちは習得した着付け技術を英語で伝えます。日本文化を学び、海外へ発信する機会となる予定です。



教育コーディネーター 池田 風雅

新田佳浩選手報告

7月23日(木)、あわくらホールで新田佳浩選手の報告会を開催しました。会場には52名の方々が集まり、新田選手からイタリアでの現地の状況や、子どもの頃から現在までの歩みについての話がありました。報告会終了後にはサイン会も行われ、子どもたちは大興奮で大いに盛り上がりました。



新田選手からのメッセージ

僕は西栗倉で過ごしてきたからこそ、いろいろなことを考え、どうやったら上達するだろうかと模索し、多くの経験をさせてもらいました。この村があったからこそ、年齢を重ねても挑戦する勇氣や気持ちを持ち続けられています。パブリックビューイングの写真や、多くの方から寄せられるメッセージを見ながら、村民のみなさんが力強く応援してくれていることに励まされてここまでやってこられました。そして、村民のみなさんが元気でいてくれることが僕にとって本当にありがたいことです。今後も試合に出た際には応援していただけたら嬉しいなと思っています。僕にはこれから2つの目標があります。1つ目は、2028年の長野オリンピックから30周年という節目を迎えるにあたり、自分自身で大会を開催することです。2つ目は、次の9大会目に挑戦し、再びメダルを獲得できるよう全力で努力していくことです。これからも応援よろしく願っています！



西栗倉村役場
電話番号

総務企画課 0868-79-2111
出納室 0868-79-2113
保健福祉課 0868-79-2233
産業観光課 0868-79-2230

建設課 0868-79-2231
教育委員会 0868-79-2216
診療所 0868-79-2220
FAX 0868-79-2125

広報
令和8年9月号
No. 760

発行 〒707-0503 岡山県英田郡西栗倉村影石33-1
西栗倉村役場 総務企画課
TEL 0868-79-2111 FAX 0868-79-2125



ハロウィンジャンボ4億円
(1等2億円・前後賞各1億円合わせて)
ハロウィンジャンボミニ4千万円
(1等2千万円・前後賞各1千万円合わせて)
この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。
各1枚 300円
9月16日 2種類同時発売!
発売期間 9/16(水)~10/16(金)
公益財団法人岡山県市町村振興協会